



知のくに

No. 85
2022.3



なごみ会卓球大会



時季に思う	1 ~ 2
高齢者の就労と生きがい講習会	2 ~ 3
安全就業を徹底するための講習会	3 ~ 4
安全祈願	4 ~ 5
なごみ会卓球大会	5 ~ 6
熊本市シルバー文化作品展	7
熊日掲載 手記および読者のひろば	7 ~ 9
会員文芸	10
事務局だより・日誌	11



時季に思う

公益社団法人熊本市シルバー人材センター

理事長 西島 喜義

令和四年もあつという間に春を迎える季節となりました。

を賜っておりまして、心からお礼を申し上げます。本年も新型コロナウイルスの影響を受け、

からお礼を申し上げます。本年も新型コロナウイルス

会員の皆様には、それぞれに、就業であれ、地域活動であれ、家庭であ

世界的に社会・経済への影響が続いています。わが国はもとより本県・市

影響が続いています。わが国はもとより本県・市

れ、日常となった日々を健やかに送られているものと存じます。

が国はもとより本県・市において、日常においても同様な状況

にあり、日常においても同様な状況

の事業につきましては、日頃からご理解とご協力

生活様式は一変しています。それぞれにマスクを着け、不要不急の外出を

す。それぞれにマスクを着け、不要不急の外出を

け、全体としては厳しい状況が続いていくものと思われま

一方では、コロナ禍に

あつても、シルバー人材センター事業は地域の日常生活にはなくてはならない活動を担ってきて

ます。その意味では、地域の基盤を担う、いわゆる「エッセンシャルワ

る「エッセンシャルワーク」の一つであると自負することができると思

ます。これからも、SCの就業の基本である安全就業

を徹底しつつ、それぞれの業務等を着実に進めていき

いきたいと存じます。なお、令和五年十月か

らいわゆるインボイス制度が導入されることとなつていますが、予定どおり施行された場合はシルバー人材センターの経営に極めて大きな影響を及ぼすこととなります。いま、熊本市や熊本市議会はもとより、熊本県や熊本県議会等との連携を図り、シルバー事業への特例措置等の要望活動を実施しているところです。新型コロナウイルス感染症の早期の収束を願いつつ、シルバー事業の更なる発展と皆様のご健勝とご活躍を心から願っております。

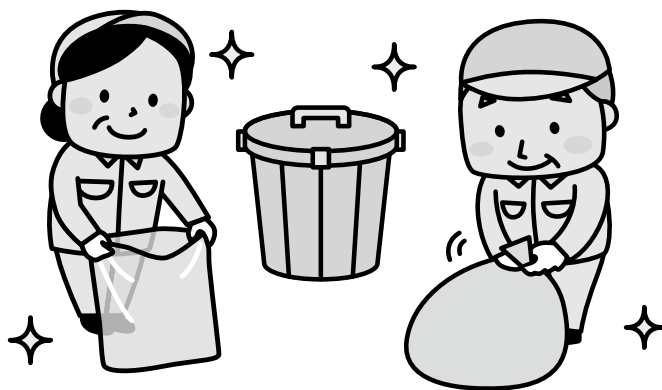


高齢者の就労と

生きがい講習会

県シルバー人材センター連合会主催による講演会が、令和三年十一月二十日(土)くまもと県民交流館パレアで開かれました。「生きがいを持って健康で長生きを 高齢者の就労を考える講習会」に熊本県シルバー人材センター連合会会長として本SCの西島理事長が講演されました。

この講演会は、「健康長寿いきいき講座」「健康寿命の延伸を支えるシンポジウム」の関連事業



で、県シルバー人材センター連合会会長と玉名郡長洲町の中逸博光町長が講師を務められました。

講演は「シルバー世代

の働き方（シルバー人材センター）の取り組みを通して」と題して百歳以上の高齢者が全国で八万六千人おり、年々増加傾向にあることなど国内、県内の高齢者が多くなっている現状を説明。「生きがいのある人は健康で長生きするといわれる。人生百年時代の中、生きがいを持つことが大切」と訴えました。

一方、働く高齢者が年々、増えているとした上で、シルバー人材センターの会員が全国で七十七万人弱であり、入会の動機としては時間的余裕、家計補助がともに一八%

で、生きがいや社会参加、健康保持、仲間づくりのためという人が多いことを紹介されました。「シルバー人材センターの事業は清掃や草刈り、庭木の剪定などが中核事業となっているが、これからは高齢者世帯や子育て世帯への支援、空き家・空き地管理、人手不足企業への派遣など、重点事業も広がってくる。楽しく、仲間づくりができ、生きがい、健康づくりにつながる。皆さんも働いてみませんか」と呼びかけ講演は終わりました。

広報委員会

安全就業を徹底するための 緊急講習会

令和三年十一月三十日 ための緊急講習会が行われ
(火) 熊本城ホール会議 れました。この緊急講習
室で安全就業を徹底する 会は、熊本市シルバー人



材センターにおける剪定業務等の重篤事故が二度と生じないため、剪定部会の班長、安全管理責任者など約八十人の出席の中で行われました。西島理事長の挨拶に続き、「労働

安全の確保について」熊本労働基準監督署澤井泰宏安全衛生課長の講演が行われ、参加者は熱心に耳を傾け、日々の就業で気を付ける要点などメモを取っていました。

要点

- ・労働災害の現状及び推移
 - ・はしごや脚立からの墜落、転落事故災害の事例
 - ・はしごや脚立の安全使用ポイント
 - ・転落時の保護帽着用の有無での効果の違い
- 事務連絡後、剪定部会長徳永会員より閉会の挨拶があり終了しました。

安全祈願

熊本市シルバー人材センターの「新年安全祈願」が、令和四年一月十一日(火)、加藤神社で行われました。

役職員二十二名と職員十一名の出席で午前十一時から拝殿に入りました。神事は、神職の祝詞奏上、御神楽を経て西島理事長により玉串奉奠が行われ、この一年の安全就業とセンター及び会員の繁栄を祈願いたしました。



※境内にて理事長挨拶

事が出来ました。今年の徹底する柱として三つ

『この一年事故が起こらないように無事に祈願する』

まず、安全就業の推進、これは繰り返し、繰り返し

し徹底する事が肝心です。

次に、シルバー全体としてのコロナに負けない体調管理、市民の方々からの期待に応えられるような体制づくり

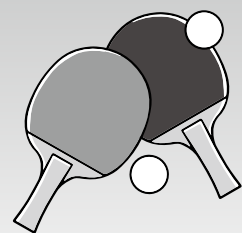
そして、令和五年のインボイス制度への対応。シルバー人材センターとして、国、県、市への働きかけや会員の皆様への周知など

今後、地域のエッセンシャルワークへの取り組みとして、シルバー人材センター一丸となり次のステップへ取り組んで行きたいと思えます。』

広報委員会

なごみ会

卓球大会



新型コロナウイルスの早期収束を願いながら第三回を迎

えた熊本市シルバー人材センター「なごみ会」主催

の卓球大会が

十二月九日(木)、二歳、最年少六十五歳、平均年齢七十五歳)、それ

において開催された。大会は、新型コロナウイルス感染症対策として手指の消毒や、プレー時を除くマスクの着用、消毒済みピンポン玉の使用など感染症対策を徹底して実

催の卓球大会が十二月九日(木)、二歳、最年少六十五歳、平均年齢七十五歳)、それにおいて開催された。大会は、新型コロナウイルス感染症対策として手指の消毒や、プレー時を除くマスクの着用、消毒済みピンポン玉の使用など感染症対策を徹底して実

催の卓球大会が十二月九日(木)、二歳、最年少六十五歳、平均年齢七十五歳)、それにおいて開催された。大会は、新型コロナウイルス感染症対策として手指の消毒や、プレー時を除くマスクの着用、消毒済みピンポン玉の使用など感染症対策を徹底して実

催の卓球大会が十二月九日(木)、二歳、最年少六十五歳、平均年齢七十五歳)、それにおいて開催された。大会は、新型コロナウイルス感染症対策として手指の消毒や、プレー時を除くマスクの着用、消毒済みピンポン玉の使用など感染症対策を徹底して実

催の卓球大会が十二月九日(木)、二歳、最年少六十五歳、平均年齢七十五歳)、それにおいて開催された。大会は、新型コロナウイルス感染症対策として手指の消毒や、プレー時を除くマスクの着用、消毒済みピンポン玉の使用など感染症対策を徹底して実

催の卓球大会が十二月九日(木)、二歳、最年少六十五歳、平均年齢七十五歳)、それにおいて開催された。大会は、新型コロナウイルス感染症対策として手指の消毒や、プレー時を除くマスクの着用、消毒済みピンポン玉の使用など感染症対策を徹底して実



た。その後、準備運動の後、競技者全員がA・Bのパートに別れ、各パート六人の総当たり式により、熱戦の火ぶたが切られた。

八十歳代はもとより平均年齢七十五歳とは思え

ない見事なフットワーク、目を見張るラリーの応酬、力強いスマッシュ、このパワーはどこから来るのか競技者に目を奪われるとともに、スピンをかけ

た名プレーに対する迷プレーやラケットを使うま

方式により白熱した戦いを進め、その結果は次のとおり、戦いを制したのは三年連続となる後藤会員であった。

優勝 後藤 守弘(八十歳) 準優勝 平岡 政弘(六十五歳)

でもなく素手により返球しようとする珍プレーなども

三位 最所 敬(八十二歳) 答 良輔(七十五歳)

あり、館内は歓声が沸き起こり大いに盛り上がった。

優勝者をはじめトーナメントで戦った三位以上の競技者に、田上会長より賞状及び副賞が授与さ

リーグ戦が終わると、各パートの一位、二位の四人が、トーナメント

れるとともに参加者全員に参加賞が配付された。

なかでも、コロナ感染対策として手製の布マスクを全員に配布するなど奇

特な競技者もみられた。

大会を振り返り、足に障害がある方が、汗を流しながら戦いを進め、三勝しておられる姿に感動するとともに、卓球は

少々の障害があっても高齢者にとって息長く続けることのできるスポーツであることを知らされた。

また、最後に競技者でもあった西島理事長から「本大会は会員の若さを取り戻す意味をもってい

ながら会場を後にした。

広報委員 中村光明

熊本市シルバー文化作品展

熊本市老人クラブ連合
会主催の第二十七回文化
作品展が十二月十八日か
ら一月二十三日まで高齢
者にとって交通便のよい
熊本市現代美術館で開催
されました。今回は正月
休みを挟む長期間の日程
で開催され作品は絵画・



工芸・手芸・書道・写真・
陶芸など一〇九点の多岐
にわたり展示され、特に
新年の干支の寅を現した
手芸工芸の作品に目が惹
かれいづれも力作ぞろい
でした。

熊本市シルバー人材セ
ンター所属の会員の作品
も会場の中心部に友情展
示テーブルが設けられ展
示されていました。

作品は会員十五名か
ら十五点の工芸(木彫り
像)・手芸・写真・絵画等
が展示されいづれも素人
作品と思えない力作揃い
に感服しました。

広報委員 田上吉昭

◆熊日掲載◆

手記

「心に残るいい話」

ふみともの事

Kさんとの文通が始
まつてもう一五年がた
つ。Kさんは栃木県宇
都宮市に住む女性だ。
Kさんから初めての手
紙をいただいた日のこ
とは、いまでも鮮明に
覚えている。それは、
唱歌「月見草」が縁と
なって始まった。

七十歳の頃、JRの
会員情報誌を愛読して
いて、毎月紹介される
ツアーや名所の記事を
楽しんでいた。ある時、
「あなたの愛唱歌は？」
という原稿募集のペー
ジを見つけた。早速、
「月見草」の歌とそれ
まつわる思い出を書い
て応募したところ、採
用され掲載された。
「月見草」は、昭和十
年に発表され、たちま
ち少女たちの間に広
がった叙情豊かな文語
体の歌である。小学校
六年の運動会の時、女
子だけでダンスの曲と
して踊った思い出があ
る。それ以来、ふとし
た時に口ずさんできた

◆熊日掲載◆

大好きな歌でもあった。頃、当時は文通相手のあり、こんな使い方をKさんも同じ情報誌のことをペンフレンドとするのかといった新鮮の愛読者だった。私の呼んではいたが……。ふな学びがあった。時にはKさんから地元紙に原稿を読み、手紙をくみとも：あつ「文友」はKさんから地元紙にださった。「月見草」かと納得がいくと、この掲載された自作の短歌の歌は私も大好きで、言葉がとても新鮮に思えて、すぐに返事をす。三拍子の弾むよう出した。それから、お歌、こんな歌を大好き互いの趣味や日常生活といわれる貴女とはのことなどしたためたきつと感性が同じです手紙のやりとりが始ね、ふみともしませんまった。

か」という文面だった。Kさんは小学校の先生をしていた方なので、私は、遠方からの手紙にびっくりしながら、字がきれいで文章のまゝふみとも」という言とまりも良く、毎回の葉に「えっ、なに？」手紙からは教わることとつぶやいた。少女雑誌が多かった。例えば、誌を通じての文通が流私なら平仮名で書くよ行していた中学生のうな時に漢字が使ったの昼食をとったのが宇

都宮市のホテルで、そこにKさんが訪ねてきてくれた。わずか二〇分ほどの会話だったが、私にとっては忘れがたい日となった。

月二回ほどだった手紙のやりとりは、ここ数年、二カ月に一回程度に減っている。でも、絶えることはない。二人とも八〇年代半ばを超えいつまで続くかわからない「ふみとも」だけど、お互いの老化が進んで終りの日があるまで、手紙を書き続けるつもりだ。

会員 片田成子

◆熊日掲載◆

熊日読者のひろば

秋の紅葉満喫生きる勇気が

今年もまた、すてきた。

な秋を楽しむことができた。バスや電車の中から眺める自然の美しさは、私の知る限りの言葉を並べても表現しきれません。細川刑部邸のライトアップも、竹あかりも見事でした。

去年はコロナ禍の影響で、秋の季節を楽しめませんでした。今年は感染者も少なくなつて、久しぶりに心ゆくまで季節を味わいま

した。私の秋へのこだわりは、カサコソとひそかな音を楽しみながら、落ち葉の道を歩くことです。落ち葉で埋まった山道を歩きながら立ち止まって、いろんなことを考えます。特に、残りの少なくなった命について考える日が増えました。

ちとの食事と、質素でしたが、私なりの充実感がありました。「明日、命が終わっても後悔はしない」と思いながら過ごしてきました。しかし今年の秋は、この濟んだ空に調和する紅葉や黄葉を眺めながら、「次の年も、その次も元気で生きて、この景色を絶対に見なければ…」と勇気が湧いてきました。まだまだ、桜の季節も待っています。自然の力に改めて気付きました。

片田成子



会員文芸

◎短歌の部

熊日入選

○ 鉄柱をよじ登る孫昨日より

するする登る顔赤くして

○ 断捨離をしてみたが着てみたり

出したり入れたり電話あつたり

会員 内田美千代

○ 亡き母の言葉は常に耳元へ

届きて吾を励ましてくる

○ おはように変わる挨拶「昨日何人」

日々増加するコロナ感染

会員 檜室なおみ

◎川柳の部

熊日特選

○ 接種終え旅案内に目が止まる

【評】 コロナ感染者数の上下を案じる日々。ワクチンの接種の一回、二回と済ませた人、まだの人もいる中、旅案

内に目が止まり、生きていることを実感する。秋だ。生きる自由、そして旅をたのしむ自由もよし。

熊日入選

○ 登山とは初心に戻る基点なり

○ 極上のおしゃべり続く日向ぼこ

○ 畳替え祝い事かと言は言う

会員 相馬 妙子

◎きょうの肥後狂句(熊日)

○ 趣味のよさ 飛驒の匠の家具ばかり

○ 音痴なアカラオケの日は病気さす

会員 片田成子

会員投稿

○ 絵手紙で まだまだ元気で

生きとるばい!

○ むしゃん良か いくつになっても

“いけめん”です

会員 萩本芙紗子

日誌

令和3年

12月1日 合同就業相談会	2月3日 全国SC理事会
3日 なごみ会幹事会	4日 熊本県SC連合会委員会(ズーム会議)
8日 新入会員オリエンテーション	16日 安全適正就業委員会
9日 なごみ会卓球大会	18日 政令指定都市実務者会議(オンライン)・剪定座学講習
10日 安全巡回及び委員会	20日 女性会員就業グループ会議
15日 熊本県SC連合会業務研修会	24日 なごみ会幹事会
17日 理事会	25日 女性活躍委員会・管理業務部会会議・熊本県SC連合会理事長事務局長オンライン会議
18日 熊本市老人クラブ連合会作品展(1/23まで)	3月4日 剪定幹部会議
22日 総務委員会・新入会員オリエンテーション	6日 女性会員就業グループ会議
24日 管理希望新人研修	

令和4年

1月7日 なごみ会幹事会	11日 北区地域班長会議
9日 女性会員就業グループ会議	15日 専門委員会
11日 新年安全祈願	17日 一般作業部会会議
12日 新入会員オリエンテーション	18日 熊本県SC連合会理事会・一般作業部会会議
13日 東区地域班班長会議	23日 新入会員オリエンテーション
14日 安全指導員オンライン研修・植木除草班会議・第二回県後期高齢者医療運営会議	20日 女性会員就業グループ会議
18日 政令指定都市代表者オンライン会議	25日 理事会
19日 中央区地域班班長会議	
24日 西区地域班班長会議	
26日 監事現場監査	
27日 除草草刈講習会	
28日 なごみ会幹事会	

合同就業相談会

十一月十二日 植木文化ホールにて開催、十名の参加

十二月一日 パレアホールにて開催、六四名の参加

加者、正会員入会三名、仮会員の登録三名となりました。

事務局だより

〒860-0833
熊本市南区平成1丁目10-18
(熊本市健康センター平成分室2階)
TEL 096(322)3300
FAX 096(322)3324

者、正会員登録二〇名、仮会員登録一名となりました。
二月一七日 開催予定は、新型コロナウイルスまん延防止重点措置適用により開催中止。



会報火のくに 掲載作品の応募募集

川柳・短歌・俳句・肥後狂句など、会報「火のくに」へ掲載しています。
皆様からの作品投稿をお待ちしております。